

キンダーブック2 11月号

表紙の
絵から

かけっこが得意なチーターさんです。みんなに応援されて、みごと、1着でゴール！「2着、3着はだれかな？」とレースの順位を聞いてみるのもよいですね。次号はひつじさんが得意なことを教えてくださいませよ！



みんなで あそぶと、もっと たのしい！



ねらい 友だちと力を合わせて、さらに楽しく遊びましょう。

つかい方のポイント クラスの友だちとの関係性も深まった時期。まわりの友だちのようすへ目を向けてみましょう。「何をして遊んでいるのかな？」と声をかけ、おひさまぐみのみんなのようにアイデアを出し合い、新しい遊びに発展させて楽しんでみてください。



みんなで つくって おんがくかい

ねらい どんぐりや葉っぱで楽器を作り、秋の音楽会を楽しみましょう。

秋の公園には、いろいろな木の葉や葉っぱが落ちています。「どんぐりを拾ったことはあるかな？」「これはなんの葉っぱかな？」などと尋ねて、どの木から落ちた物が調べてみるのもよいですね。



拾った落ち葉や木の実と、身近な材料をつかって、簡単に作れる楽器を紹介しています。どんぐりなどの材料を変えて音の違いを試してみても楽しいですね。自由に飾りつけて、自分だけのすてきな楽器を作りましょう。

楽器を作った後は、「どんな音がするかな？」と声をかけ、みんなで楽器を演奏してみましょう。演奏するときの衣装も作って、秋らしいっぱいの音楽会を楽しんでみてください。



おてつだい できるかな？



ねらい 自分にもできるお手伝いをしてみましょう。

つかい方のポイント 勤労感謝の日にちなんで「お手伝い」がテーマです。食器を運んだり、洗濯物を畳んだりするなど、自分にもできるお手伝いがあることを知って、チャレンジしてみましょう。人の役に立つことを喜び、感謝の気持ちをもるとよいですね。

「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

毎月季節の折り紙遊びがダウンロードできます！



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/origami>

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
 「みんなで つくって おんがくかい」	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋の木の葉や落ち葉をつかった遊びを楽しむ。 ● 秋の木の葉や落ち葉の特性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● あらかじめ集めたどんぐりなどを保育室に環境の一部として置いておく。子どもたちがいつでも触れられるようにしておく。 ● 廃材と組み合わせやすいので、各家庭に協力してもらい、事前に集めておく。 	環境 表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康な心と体 ● 自然との関わり・生命尊重 ● 豊かな感性と表現
 「みんなで あそぶと、もっと たのしい！」	<ul style="list-style-type: none"> ● 友だちの意見を聞くことのたいせつさを知る。 ● 友だちといっしょにすることが楽しいという経験を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この時期になると先生よりも友だちとの関係のなかで育つ場面が多く見られる。子どもたちが自分の意見を言う機会を多くつくり、さまざまな思いがあることを伝える。 ● 友だちといっしょに過ごす楽しさを感じられるよう、複数人で遊べる配慮をする。 	人間関係 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 協同性 ● 思考力の芽生え ● 言葉による伝え合い